

内科救急診療指針 2022 正誤表

本書の記載内容に誤りがございました。

訂正させていただきますとともに、謹んでお詫び申し上げます。

株式会社 総合医学社

第1版第1刷

該当箇所	誤	正
140 頁 表 1 の下に注釈を追加		N は 9 点とするが、評価点としては加算しない
152 頁 投与例	プロテカロール	プロカテロール
157 頁 救急外来から帰宅させる留意点	プロテカロール	プロカテロール
399 頁 索引	デガドロン	デカドロン
400 頁 索引	プロテカロール	プロカテロール

第1版第2刷

182 頁 上から 6 行目

誤：ニトログリセリン注 0.05～0.1g/kg/分 (0.3～0.6mL/時)

正：ニトログリセリン注 0.05～0.1 μ g/kg/分 (0.3～0.6mL/時)

該当箇所	誤	正
5 頁 図 4 左上の四角	モニタ装着 (IV) 静脈路確保 (Monitor)	静脈路確保 (IV) モニタ装着 (Monitor)
204 頁 表 8 2 行目	急性胆管炎	急性胆嚢炎
217 頁 下から 7 行目	誘引	誘因
253 頁 図 9 高カルシウム血症患者に対するアプローチの家族性低カルシウム尿症 高カルシウム血症の矢印部分	FEca>1.0%	FEca<1.0%
370 頁	advanced directive	advance directive
371 頁, 383 頁, 403 頁	advanced care planning	advance care planning

第1版第3刷

該当箇所	誤	正
50 頁 はじめにの上から 10 行目	念頭におきながら、	念頭におきながら、

第1版第1刷～第4刷

該当箇所	誤	正
86 頁 下から 9 行目	頭位眼反射 (head impulse test: HIT, 図 2) 正常, 方向交代性眼振なし, Skew deviation 陰性により中枢性めまいを除外する。3 つ揃えば中枢性はほぼ除外できる。 1) HIT: 回転性めまいがあり, HIT 陰性 (正常) であれば中枢性の可能性	頭位眼反射 (head impulse test: HIT, 図 2) 異常 (末梢パターン), 方向交代性眼振なし, Skew deviation 陰性により中枢性めまいを除外する。3 つ揃えば中枢性はほぼ除外できる。 1) HIT: 回転性めまいがあり, HIT 陰性 (正常パターン) であれば中枢性の可能性
248 頁 下から 6 行目	ポリスチレンスルホン酸カルシウム (ケイキサレート [®])	ポリスチレンスルホン酸ナトリウム (ケイキサレート [®])

*本書の訂正などの最新情報は、当社ホームページ (<https://www.sogo-igaku.co.jp>) をご覧ください。